



WAVE!

Shingo Amamiya Narita City Report

2010.01
Vol. 11

成田市議会議員

蒼成会 × 雨宮しんご

活動日記を毎日更新!!

雨宮しんご

検索

31歳

『成田空港の容量拡大における現状と課題』について講演!



2009年10月12日の前原国土交通大臣による「羽田空港ハブ化発言」がなされた丁度その日、静岡県御殿場市において、大学院教授や自治体副市長、それに国家公務員、地方自治体職員、都議会議員、地方議員、学生など多数の聴講者に対して、『成田空港の容量拡大における現状と課題』をテーマに成田空港の将来ビジョンについて講演する機会に恵まれました。

さらなる国際線需要予測が示されるなか、世界主要空港に比肩しうる国際空港として今後日本が台頭していくためには、成田一羽田の一体運用が必要不可欠です。また、2009年3月末の22万回から、さらなる発着枠30万回という新たな成田空港のポテンシャルも示されています。世論の注目を逆に好機と捉え、今後もこうした機会には積極的に県外にも足を運び、成田市議会議員として“ナリタ”をアピールしていこうと考えています。

「雨宮しんごHP」10万アクセスを突破!!

政治家となる一年以上前からHPを開設し、当選後も毎日活動記録を発信し続けてまいりましたが、3年8ヶ月経た2009年11月23日、ついに10万アクセスを突破しました。これからも、成田市の懸案事項や検討課題の進捗状況を雨宮がどう考え、それをどのように具体的行動に移しているかといった政策的な部分も含め、HPに限らず、今後も市政報告紙「WAVE!」や出前市政報告会などを通して、お伝えしていければと考えています。

雨宮しんご

検索

にて是非ご覧ください。
ご意見をお待ちしています!

12月定例会議のあらまし

全国的に医療崩壊が叫ばれていますが、これは成田市においても例外ではありません。今定例会では、救急医療体制における成田市の対応が伺える議案が目立ちました。

議案第21号 成田市一般会計補正予算について

医療対策!!!

地域医療対策事業 8500万円

2009年4月に時間外療養費・初診時療養費を5250円に引き上げるなど一定策は講じたものの、成田赤十字病院における内科医を中心とした勤務医師不足が原因で、一次救急の受け入れ態勢が困難になってきた旨の報告がありました。また、医師会といった開業医も高齢化や日中勤務から、一次救急の時間外(23時~翌朝)受け入れは物理的に困難なため、成田市が成田赤十字病院に資金注入をすることで医師を確保し、一次救急を維持すべきという要望がなされました。

基礎自治体には地域医療を支える義務がありますが、国の制度改革によって疲弊した勤務医を基礎自治体が資金注入することで守るという行為自体には疑問符を拭えませんでした。

ですが、補正予算を否決したため喫緊時に一次救急が閉じることになれば、それこそ本末転倒と判断し賛成(可決)しました。議会としても新たに医療問題特別委員会を設置したことから、成田の医療問題にフットワークを持って対応して行ければと考えています。

※一次救急...入院を必要としない患者への対応

急病診療所管理運営事業 1808万1千円

急病診療所管理運営事業は第7号議案に必要な医師報酬などの費用になります。

議案第7号 成田市急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

医師会の協力により、内科及び小児科の診療時間を現在の毎日7時から午後11時までに加え、新たに年末年始、お盆等を除く日曜日の午前10時から午後5時までの診療が実施されることとなります。(下記補正予算、急病診療所管理運営事業はそのための費用になります。)



雨宮しんご

雨宮真吾事務所

事務所：〒286-0018 成田市吾妻 3-48-28
tel : 0476-27-5918 / fax : 0476-27-1051

info@ama-shin.net
www.ama-shin.net

- 1978年10月31日生まれ(31歳)
- 元進学予備校講師
- 最年少、過去最高得票で平成19年成田市議会議員選挙に初当選
- 総務常任委員会委員
- 新駅・機関交通網整備促進特別委員会副委員長
- 都市計画審議会委員
- NSA公認指導員

出前市政報告会!

雨宮しんごは、お一人にでも多く市政の現状・問題点をお伝えするため、出前市政報告会を行っています。「直接、議会報告を聞きたい。」「成田市政、成田市議会に言いたいことがある。」など、報告のみにとどまることなく、ざっくばらんに市政について意見交換が出来ればと思っています。ご希望の方は、メールかFAXにてご連絡ください。お待ちしております!

「羽田空港の国際ハブ空港化」 成田格下げ発言に関する経過

- 10月12日 前原国土交通大臣による「羽田ハブ化発言」**
前原国土交通大臣より、橋下・大阪府知事との会談で、
(1)2010年10月に再拡張される羽田空港を24時間空港化された国際的拠点空港(ハブ空港)として優先整備する。
(2)国内線は羽田空港、国際線は成田空港とする「内際分離」の原則も廃止し、両空港の役割分担を見直す。
という考えが示される。
- 10月13日 成田空港権自治体連絡協議会臨時会を開催**
千葉県、成田空港株式会社(NAA)同席で開催。「前原国土交通大臣の唐突な発言に対する撤回」を求める要望活動することを確認。
14日に前原国土交通大臣と森田千葉県知事が会談を持つことから、このことを託した。
- 10月14日 前原国土交通大臣と森田千葉県知事が会談**
「成田が国際線の基幹空港、羽田が国内線の基幹空港であるという原則の維持」「両空港を一体的に捉えた合理的なすみわけを行うこと」などが確認された旨、森田知事より発表。
- 10月15日 前原国土交通大臣へ申入れ書を手渡す**
空港周辺9市町の成田空港権自治体連絡協議会、成田空港周辺市町議会連絡協議会が、前原国土交通大臣に面会の上、「成田空港は国際線の基幹空港、羽田空港は国内線の基幹空港」とする基本方針を堅持し首都圏空港の機能拡充が図られるよう、申し入れ書を手渡した。
- 10月16日 千葉県市長会と千葉県町村会が国土交通副大臣と面会し、要望書を手渡した**
- 10月20日 空港関係自治体首長と森田知事の会談**
・森田千葉県知事と小泉成田市長、相川芝山町長が意見交換。大臣との会談における「合理的なすみわけ」といった合意内容の真意を確認、不安感を表明。
・浦安市長が羽田24時間化の騒音について知事に申し入れ。
- 10月22日 成田空港の平行滑走路が2500mに延伸され供用開始**
- 10月23日 国土交通大臣肝いりの成長戦略会議立上げ**
羽田国際ハブ化に向けた検討会議を発足、オープンスカイ(航空自由化)などについて2010年6月までにとりまとめを行う。
- 10月26日 成田市空港対策特別委員会を開催**
羽田空港ハブ化問題について協議を行う。
- 10月31日 成田空港権自治体連絡協議会を開催**
更なる容量拡大について協議が行われる。
☆雨宮しんごが31歳の誕生日を迎える。
- 11月7日 成田空港2本の滑走路の「同時平行離陸」方式導入を国土交通省が容認する方針を固める**
滑走路間隔が約2.5キロ離れており、同時離陸後の2機が平行に飛んでも安全面で問題ないとするデータを米調査会社まとめる。
- 11月20日 成田空港活用緊急戦略プロジェクト検討会議の立上げへ**
森田知事を座長として経済界・航空会社・旅行業界・空港周辺自治体長を構成メンバーに。
- 11月25日 前原国土交通大臣発言**
・「昼間に欧米便も飛ばす。羽田増枠の半分を国際線に。」
・小泉市長のシンクタンク『(仮)成田成長戦略会議』を片山副市長を中心に立上げへ。
- 12月21日 成田空港活用緊急戦略プロジェクト検討会議初会合**
空港周辺整備や観光振興策などを内容とするとりまとめを成田市長や観光業者らと行い、再来年度予算への反映を目指す。
- 12月末 年間発着枠30万回時の予測騒音コンター(騒音予測図)の提示(予定)**

※2009年12月10日までの情報

12月定例会議一般質問

12月定例会では、30人中16人が一般質問を行いました。そのうち『羽田国際ハブ空港化発言』関連の質問者が9人、「新型インフルエンザ」関連の質問者は5人いました。いずれも今、市民の皆さまにとって重要性・緊急性の高い項目と言えます。

雨宮しんごも、独自の観点からこの両項目を取り上げ、一般質問を行いました。

これからも細心の注意により的確な情報をつかみ、市民の皆様の信託に応える発言・提言をしてまいります。

かなり熱く質問しています。

成田市議会HPから録画中継を

ご覧いただけますので、是非ご覧下さい。

成田市議会中継 検索

12/2 (木) 雨宮真吾をご覧下さい。

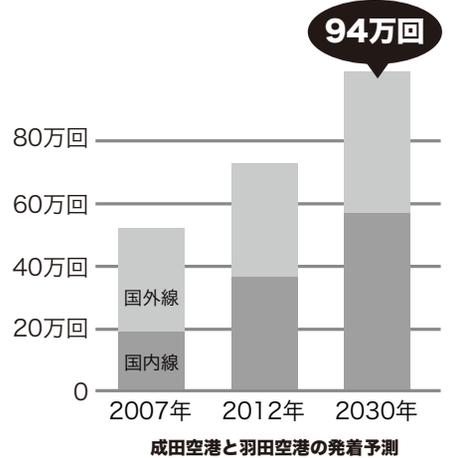
30年後の成田空港行政のビジョン設定とさらなる容量拡大への取り組み ～発着枠30万回へ具体的時期を明示すべき！～

成田空港関連の固定資産税収入は109億7千万円(21年度見込)に上り(成田市の一般会計の約20%)、雇用についても成田市の4世帯に一人が空港関連企業に就かれているなど、成田空港は当市にとって高い位置づけとなっており、「空港の盛衰はわが市の盛衰に直結する」といっても過言ではない状況となっています。

成田空港は、来年3月末には20万回の発着枠から2万回増やし22万回へと容量を拡大します。ですが、国が物差しとする財団法人運輸政策研究機構の20年後2030年の航空需要94万回という需要予測を達成するには、現在の成田一羽田の拡張計画では遠く及びません。

そこで、世論による成田パッシングを逆に好機と捉え、成田空港の新たなポテンシャルである容量拡大を具体的に明示、決断をすべきであると提案しました。

小泉市長からは「30万回への容量拡大は、最重要課題であると認識はしつつも、新たな容量拡大には更なる騒音が引き起こされることが懸念されるため、2009年末に示される30万回の騒音コンター(騒音影響輪郭線)の結果を検討したい。」という慎重な答弁でしたが「国の政策転換に対し、悠長にははいられない。」との見解も示されていたので、コンター提示後の迅速な動きを要望しました。



新型インフルエンザにおける成田市の危機管理体制について

2009年11月5日に感染症発生動向調査が国の定める基準値を超えたため、千葉県では過去これまでにない早さでインフルエンザ警報が発令されました。

幼稚園	2197人中345名(15.7%)が罹患。クラス閉鎖は78学級中50学級。
保育園	2123人中423名(19.9%)が罹患。
小中学校	184学級で学級閉鎖となり小学生で2325人、中学生で903人。市内小中学生の32.3%が罹患。
高等学校	99名が感染し9学級を閉鎖。

(いずれも11月30日までの情報)

表の通り、縦割り行政の弊害により国や県からの情報が不足する中、雨宮の質問主旨に沿った新たな情報が、市職員の方々の尽力により開示されました。

定期的な罹患率の開示は蔓延の範囲や速度、それに他自治体との比較やイベント中止基準等の大切な指標となることから、市内の医療機関や学校、教育施設と連携を図ることの必要性をこれまでも訴えてきました。

成田市は、情報の把握とその活用、そして適切な情報発信など、市民の皆さまの生命と安全を守るために新型インフルエンザ対策本部を他自治体に先駆けて立上げています。今後も、的確な情報を遅滞なく発信して欲しいと対策本部に強く要望しました。

キリトリ

みなさまのご意見をお寄せください！

Q1 雨宮しんごに期待することは何ですか？

Q2 一般質問で取り上げてほしい項目はなんですか？○をお付けください。

- 高齢者福祉 ●景気、雇用問題 ●空港問題 ●防犯、防災対策
●医療問題 ●子育て支援や教育の充実 ●環境問題 ●その他()

Q3 成田市政へのご意見や雨宮しんごへの要望をお書きください

FAX:0476-27-1051

ご記入頂いた個人情報は、ご依頼を受けた ご要望等の対応に利用させていただきます。

フリガナ
お名前

住所 〒

電話番号